



2021年4月26日

各位

会社名 株式会社シー・ヴィ・エス・ベイエリア
 代表者名 代表取締役社長 泉澤 摩利雄
 (コード番号 2687 東証1部)
 問合せ先 広報・IR担当 (TEL: 043 - 296 - 6621)

業績予想値と決算値との差異に関するお知らせ

2020年12月30日に公表いたしました2021年2月期通期業績予想値と、本日公表の決算値に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 当期の連結業績予想値と決算における実績値との差異(2020年3月1日～2021年2月28日)

	営業総収入	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (2020年12月30日公表)	百万円 7,500	百万円 △570	百万円 △470	百万円 △780	円 銭 △158.00
実績値 (B)	7,318	△546	△548	△1,160	△235.00
増減額 (B-A)	△182	24	△78	△380	
増減率 (%)	△2.4	—	—	—	
(参考) 前期実績	10,427	37	165	△401	△81.30

2. 当期の個別業績予想値と決算における実績値との差異(2020年3月1日～2021年2月28日)

	営業総収入	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (2020年12月30日公表)	百万円 1,750	百万円 △600	百万円 △540	百万円 △850	円 銭 △172.19
実績値 (B)	1,764	△634	△593	△1,159	△234.98
増減額 (B-A)	14	△34	△53	△309	
増減率 (%)	0.8	—	—	—	
(参考) 前期実績	3,828	16	97	△415	△84.26

3. 差異の理由

個別業績におきましては、コンビニエンス・ストア事業においては、売上高は想定を上回って推移した一方、ホテル事業においては1月中旬以降、緊急事態宣言の再発出を受け、一部のホテル施設で再度臨時休業を実施するなど、ホテル事業の売上高は想定を下回って推移したことで、営業総収入は概ね想定通りとなった一方、ホテル事業の苦戦により営業利益及び経常利益については想定を下回る結果となりました。また、当社が千葉県成田市に保有する遊休資産(土地・建物)について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、2億32百万円の減損損失を計上したほか、一部のホテル施設において減損損失を計上したことなどにより、当期純利益につきましても予想を下回りました。

連結業績におきましては、個別業績に加え、マンションフロントサービス事業における付帯売上高の減少及びクリーニング事業の需要の改善に遅れが見られたことで、営業総収入は予想を下回ったものの、マンションフロントサービス事業における販管費の削減及び収益予想を保守的に見積もっていたこともあり、営業利益は予想を上回りました。一方、連結子会社において投資事業組合への出資について、投資事業組合運用損 83 百万円を営業外費用として計上したことなどにより、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は予想を下回りました。

以上